

「ホール&レスポンス形態を
交えた和やかな雰囲気で進
行した



寺田彌惣



**大企業のみでない
新たな認識で臨む**

ナ一でも紹介してもらうが、色々なパッケージがある」と説明。「今後の若い人たちの取り込みや、その人たちの未来を如何に担保して、長く勤めてもらうかが我々にとって大事などころである」と強調した。

一方で「ものづくりが好

資産運用の今後と 高校金融教育開始

ナ一受講者】
▽寺田裕之(株テラコ
ン)▽寺田玲寛(同)▽加
瀬健(千葉窯業㈱)▽長
治理沙(同)▽斎藤寿夫
(三洋コンクリート工業
㈱)▽小川晶子(同)▽太
田大介(千葉県コンクリ
ト製品協同組合)

ラック・ダン
アスフルト
送行為について
る要件として
に応じるもの
で行われるも
小松弘之監
ドテクノ)に
をもって、閉

「企業型DC」でセミナー 最強の福利厚生制度に

県コンクリート製品協組



本多講師

きな人、(仕事で)汚れる
ことを厭わない人は必ずい
る訳なので、「本多講師
の人たちが一生懸命働いて
生きがいを見出してもうための一つ
の要因となるのが、本日の研修の中にあるかもしれない」と指摘。

さらに、「それらを踏まえて勉強し、各社に持ち帰ることで、福利厚生制度の一つに役立てて頂ければあります」と呼びかけ、あいさつとした。

このように、「金融教育を新たな福利厚生として定期的に行うことにより、社員の老後を守つていいくことも必要なのである」と問いかけるとともに、「経営者と社員が知つておるべき老後資金対策を、この機会にお伝えしたい」と述べ、本題に入った。

立高校で金融教育がスタートした」とし「今後はますます、資産運用というテーマが重要になってくる」と強調。

その点から「現在では公

とした合意彩りとした際には、
加しないと題
が必要」とし
ては、「リ
また、価格
(課徴金減免
裏切りが必
常にリスクが
摘。研修会を
ルテルの定義
ぶことや、力
る意思の連続
る場に居合を
加しない旨を
ぐに立ち去る
説いた。

今後は、11月21日まで質疑を受け付け、12月5日までに回答する。その後、19日までエントリーシート、26年1月9日まで提案書の提出を受け付け、同月下旬



に對し、スティーレクホルダに
から厳しい目が向けられて
いる。本日の研修の内容
は、コンプライアンス、安
全、プラント技術と盛のだ
くさん。学んだことを職場
に持ち帰つて水平展開し、

護士の西村泰大弁護士(西村・町田法律事務所)が「道路会社とコンプライアنس」、第2部で㈱ハッピーアローワーク代表取締役・地理女net代表の森順子氏が

争入札によつて
決める制度が
必ず存在し
過言ではない
示した上で、
つたが、忘わ